

## 評価の観点・観点の趣旨・評価方法 <美術科>

	観点	観点の趣旨	評価材料方法
I	知識・技能	造形的な視点について理解し、感性や造形感覚などを働かせて、発想や構想したことを基に、材料や用具を生かし工夫するなどして創造的に表しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業まとめカード</li> <li>・提出物の内容や提出状況</li> <li>・授業観察(制作への取り組みなど)</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・制作過程/完成作品 など</li> </ul>
II	思考・判断・表現	発想や構想において、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができているか。また鑑賞において、感性や想像力を働かせて、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業まとめカード</li> <li>・提出物の内容や提出状況</li> <li>・授業観察(制作への取り組みなど)</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・制作過程/完成作品 など</li> </ul>
III	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わいながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」を身に付ける学習活動に主体的に取り組もうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業まとめカード</li> <li>・提出物の内容や提出状況</li> <li>・授業観察(制作への取り組みなど)</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・制作過程/完成作品 など</li> </ul>